

第7回保険者機能推進全国大会

保険者機能の原点を追求する

開催日 平成30年11月26日(月)

会場 星陵会館2階ホール
東京都千代田区永田町2-16-2

一般社団法人 保険者機能を推進する会

〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町1-1番地 乗物町第一ビル 4階
電話 03-5577-5412 FAX 03-5577-5413
メール hokensha@kino-suishin.org
ホームページ <http://www.kino-suishin.org/>





<大会プログラム>

時間	内容
12:00~	受付開始（星陵会館 1階ロビー）
12:30~	開会 開会挨拶 保険者機能を推進する会会長 小玉 道雄 来賓祝辞 厚生労働省保険局保険課長 安藤 公一様 健康保険組合連合会副会長 佐野 雅宏様
13:00~14:20	基調講演 「保険者機能の原点を追求するために ～良質な医療の提供と保険者の責務～」 放送大学客員教授 田中 耕太郎 先生
14:30~16:40	研究会成果発表 ●レセプト・健診データ分析研究会 「年齢階層別リスク割合の経年分布図」が進化しました！リスクを「血糖」「血圧」「脂質」に分解することで、健保の特徴が把握しやすくなりました。健保の特徴と課題を見える化する、シンプルな指標も参考披露します。 ●健診事業のあり方研究会 ①被扶養者健診の運用に関するアンケート結果（運用と受診率の相関） ②健診事業に係る個人情報取り扱いに関する事業主連携のあり方について発表いたします。 ●ポピュレーションアプローチ研究会 ①伝え方：伝えたいことを伝えるようにするには？ ②人を動かす：伝わっても行動変容につながらない人を動かすには？ 以上2点を中心に研究会発足以来1年半の成果を発表いたします。 ●柔整問題研究会 街中にある「接骨院」の看板を気にして見たことがありますか？ 柔道整復師法第24条では広告内容に規制がありますが、このルールはほとんど守られていません。 柔整問題研究会では今年もメンバーが汗をかいて現地調査を行い、その実態を発表いたします。 ●くすり研究会 ①ジェネリック医薬品の数量シェア80%達成に向けた、薬剤費からみたデータ分析や加入者への効果的な対策を紹介いたします。 ②ポリファーマシー（多剤併用・処方）による副作用の発現、薬剤費の押し上げの対策を事例を通して紹介いたします。
16:50	閉会
17:15~19:00	懇親会 つきじ植村 山王茶寮（日枝あかさか内）



< 基調講演 >

保険者機能の原点を追求するために ～良質な医療の提供と保険者の責務～

社会的・経済的に医療の果たす役割が大きくなり、またその費用負担も増加を続ける中で、公的医療保険を採用する日本においても、< 保険者機能の強化 > が各方面から強く求められています。では、保険者は制度の中核的なプレーヤーとしてどのような役割を果たすべきなのでしょう？

被保険者の健康情報の有効な活用や、健康づくりに向けた活動などがすでに多くの健康保険組合でも取り組まれています。しかし、医療保険が被保険者から保険料を頂き、その傷病時に保険医療機関を通じて保険診療を提供する仕組みである以上、その保険者の役割の核心は、効率的で良質な医療の提供に向けて、医療提供者とともに尽力することではないでしょうか？

同じ公的医療保険を採用しながら、1996年以降、リスク構造調整と被保険者による保険者選択制という、< 連帯下の競争 > を大胆に採用し、保険者主導による新たな医療サービス形態の創出・普及に向けて展開しているドイツの取り組みの分析を通じて、改めて日本における保険者機能のあり方について、考えてみたいと思います。



放送大学客員教授

田中 耕太郎(たなか こうたろう)先生

略歴 (2018年9月現在)

1974年 京都大学法学部卒業、厚生省(当時)入省
水道環境、社会保険庁、薬務、児童手当、保険局医療課、
在ドイツ連邦共和国大使館書記官、大臣官房総務・政策・
国際、障害福祉、内閣官房などを歴任。

1995年～2015年 山口県立大学社会福祉学部教授

2012年～ 放送大学客員教授

主な著書： 『はじめての社会保障第15版』(2017)(共著)有斐閣アルマ
『社会保険のしくみと改革課題』(2016)放送大学教育振興会
『社会保険改革 -日本とドイツの挑戦- 』(2008)(編著)ミネルヴァ書房

